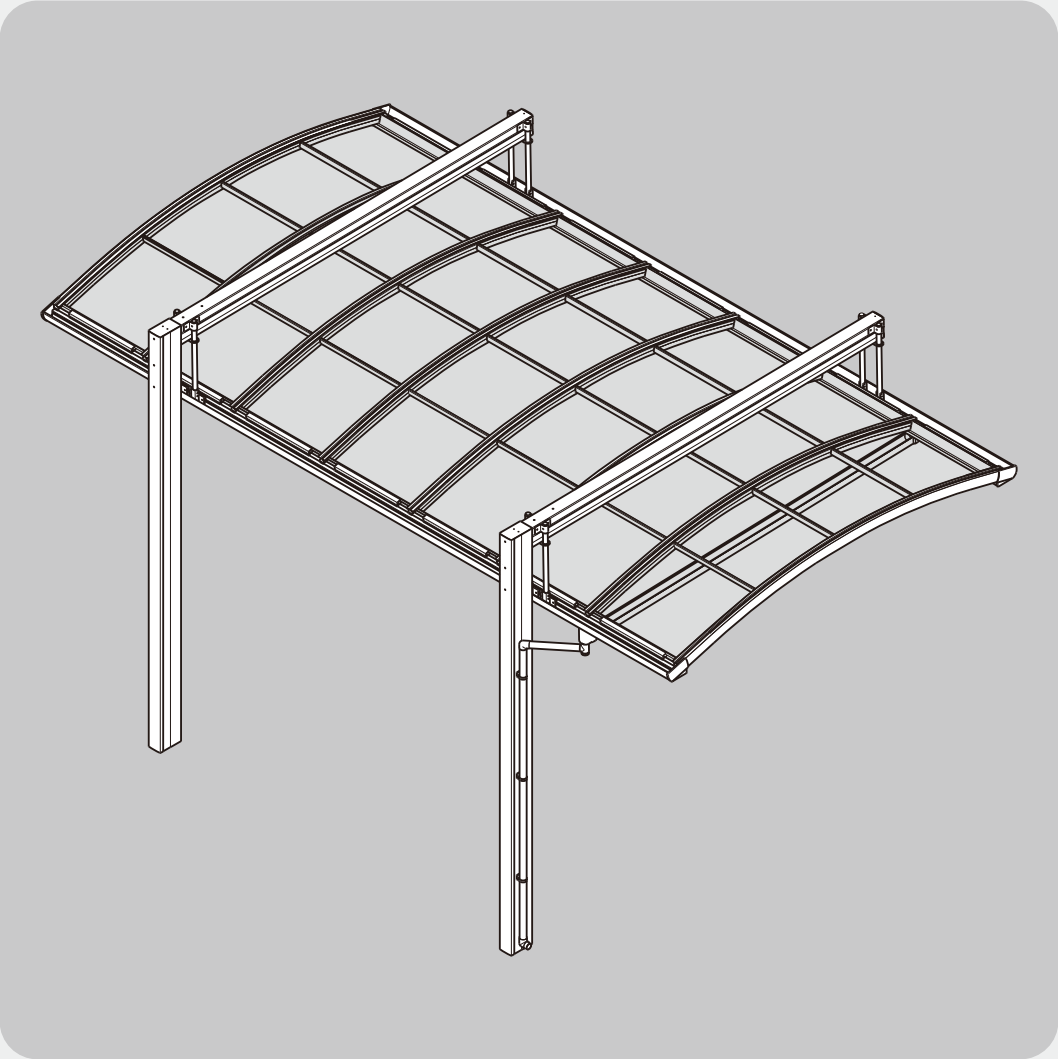
マルチスクエア 片支持タイプ

取付説明書



取付けにあたって

この説明書では、お客様の安全と製品を正しく施工していただくための、取付けについて、重要な内容を記載しております。
ご留意いただき、取付けしてください。

目次

■取付けされる方へのお願い……1・2
■構造説明図……3・4
■基本寸法……5
■基礎寸法……5
■取付け順序……6～11
1.柱・梁の取付け……6
2.桁の取付け……7～10
3.垂木・側枠の取付け……10
4.母屋の取付け……10
5.屋根パネルの取付け……10
6.屋根材カバーの取付け……10
7.横どい・縦どいの取付け……10・11
■連棟の取付け……11
■梁化粧カバーの取付け……11
■参考納まり図……12・13

取付けされる方へのお願い

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

※ ▭ 内はロットNo.表示位置を示します。

■取付けされる方へのお願い

●同梱されている取扱い説明書は、必ず施主様へお渡しください。
●取付けの際は、マルチスクエア組立て・施工説明書を併せてご使用ください。
●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

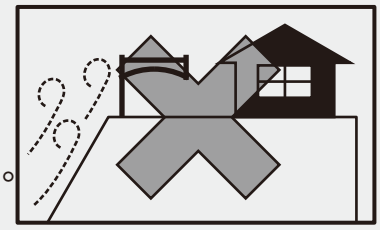
⚠注 意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

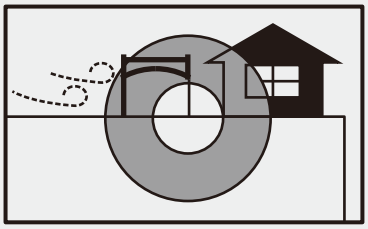
⚠ 注 意

※製品の破壊および落下のおそれがありますので、下記事項をお守りください。

■取付け上の注意

●設置条件
・母屋の屋根から直接雪が当たらない場所に設置してください。
・本製品は一般地域向け商品で積雪（新雪）20cm以下の地域用です。
・本製品は地上階に取付ける設計になっております。2階以上の高所には取付けないでください。強風にあおられるおそれがあります。
・柱の移動は、当社指定範囲内にしてください。
・崖などの高低差のある場所には設置しないでください。
・風当たりの強い場所に設置する場合や、サイドスクリーンを取付ける場合は、補助柱で製品の補強をした上、風にあおられないよう柱は建物と反対側に設置してください。（丘陵地・田畑・野原・海岸沿い又は風を妨げる物のない平地に隣接した場所など）





●取付けについて
・取付けは専門業者が行ってください。
・指定以外の改造・変更（階段屋根、母屋への取付けなど）をしないでください。
・当社指定の付属品以外は取付けないでください。
・当社指定の屋根パネルを使用してください。
・屋根パネルの取付けは垂木・パネル押えへののみ込みが左右均等になるようにしてください。パネルが強風により飛散するおそれがあります。

●部材の固定
・組立てねじ、ボルトは必ず指定のものを使用してください。
又、使用中ゆるまないように締付けてください。
・タッピンねじの下穴には指定より太いドリルを使用しないでください。

⚠ 注　意

●基礎について
・基礎は当社指定寸法以上にしてください。
・海砂は水洗いしたものを使用してください。アルミが腐食するおそれがあります。
・施工前に調査を行い、地下埋設物（給排水管など）に影響をおよぼさないようにしてください。
・寒冷地で凍上のおそれがある地域に取付ける場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。
・柱には水抜きができるように柱基礎には必ずぐり石を敷き、柱と基礎の付け根に水抜き穴（φ6）をあけてください。柱内の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。
・養生期間は十分（4日～1週間以上）にとり、その間は重たいものをのせたり、振動を与えたりしないよう指示してください。
※製品腐食のおそれがありますので下記事項をお守りください。
●絶縁処理
・アルミ形材が亜鉛、ステンレス以外の金属と接触するときは、絶縁処理をしてください。
※水漏れのおそれがありますので下記事項をお守りください。
●シーリングについて
・シーリングは指定個所に必ず行ってください。
・シリコンシーリングを使用する場合、ポリカーボネート板のひび割れなどが考えられますので、当社指定の脱アルコール型シーリング材を使用してください。

シーリング材メーカー	品名および品番
信越化学工業(株)	シーラント72
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン(合)	トスシール380
東レ・ダウコーニング(株)	SE960

構造説明図

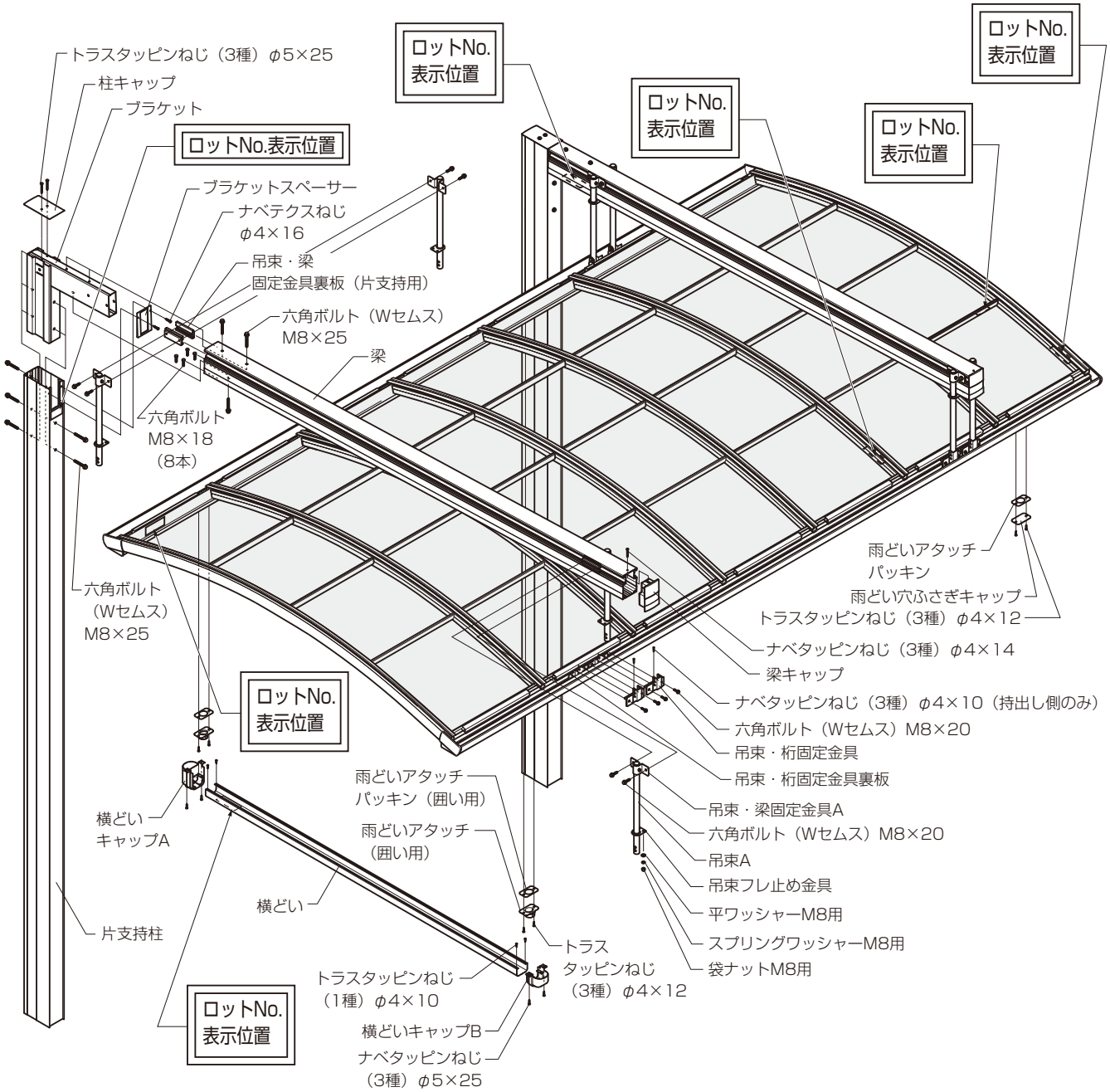
●片支持以外の取付け説明書は下記セットに同梱されています。

本体	：組立て部品セット	サイドスクリーン	：サイドスクリーン部品セット
パーゴラ桟	：パーゴラ桟組立て部品セット	サイドスクリーン	：スクリーン部品セット
マルチスクリーン接続	：間柱固定部品セット	柱化粧材	：柱化粧材セット
	：間柱キャップセット	着脱式補助柱	：補助柱取付け部品セット

■構造説明図

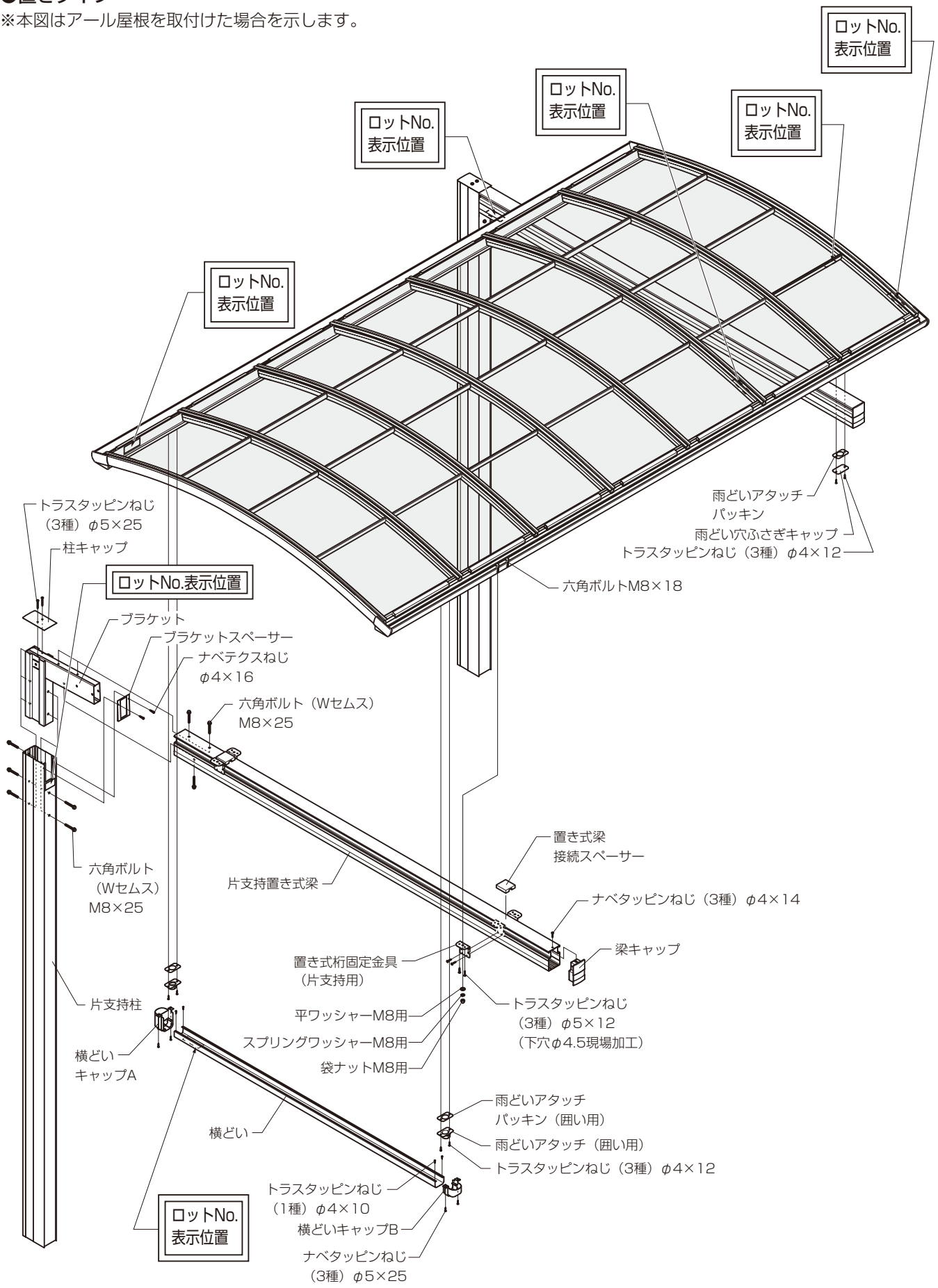
●吊りタイプ

※本図はアール屋根を取付けた場合を示します。



●置きタイプ

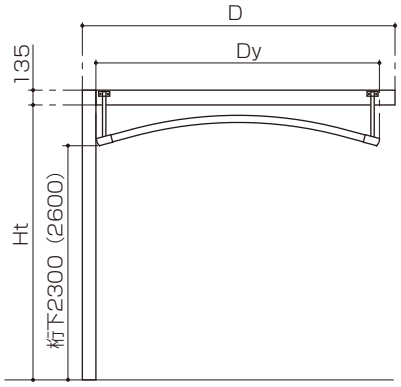
※本図はアール屋根を取付けた場合を示します。



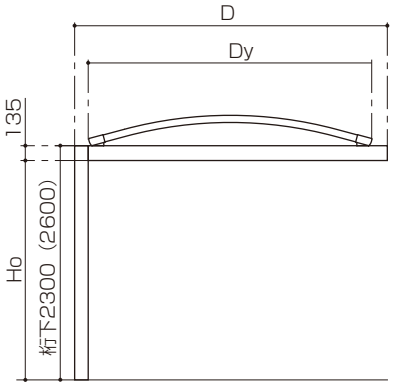
●マルチスクエア（片支持）600タイプ

■基本寸法

●吊りタイプ



●置きタイプ



[　] =H26

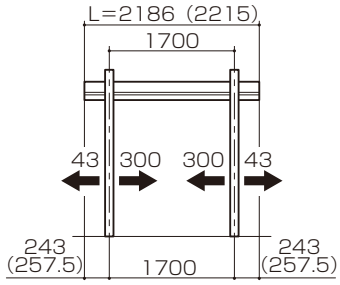
有効高さ			
Ho	Ht		フレーム18・27・30
共通 2155 [2455]	屋根呼称	15	2730 [3030]
		18	
		24	
		27	
		30	

フレーム	幅：D
18	2047
27	2976
30	3276

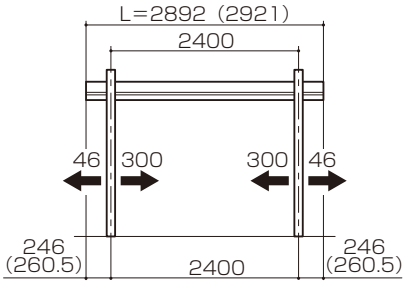
※梁は水平ではありません。先端が1～2°上がります。
（取付ける屋根により角度は異なります。）

フレーム	18・27・30				
屋根	15	18	24	27	30
22			–	–	–
29			–	–	–
50					
57					

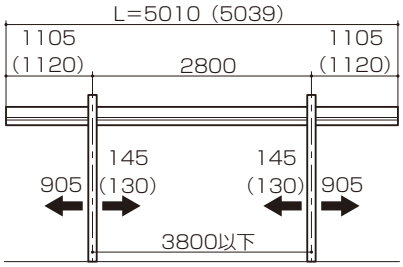
●22タイプ



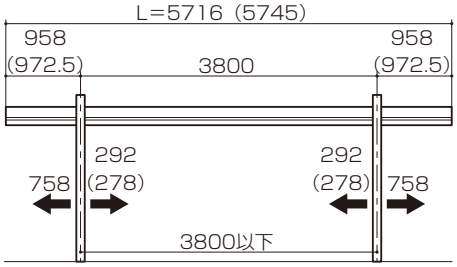
●29タイプ



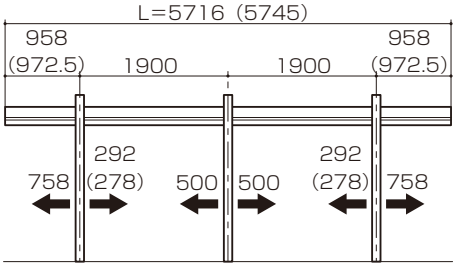
●50タイプ



●57タイプ（柱2本）

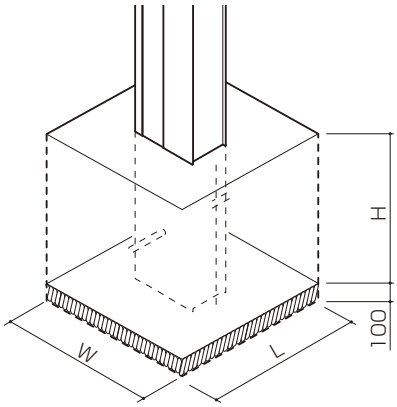


●57タイプ（柱3本）



※1：屋根持出し寸法は200mm以上1250mm以下にしてください。
※2：柱芯々寸法は3800mm以内にしてください。➡は柱移動範囲を示します。
※3：Dy寸法は**「本体組立て・施工説明書」**を参照してください。
※4：（　）内数値はフラット屋根の場合を示します。

■基礎寸法



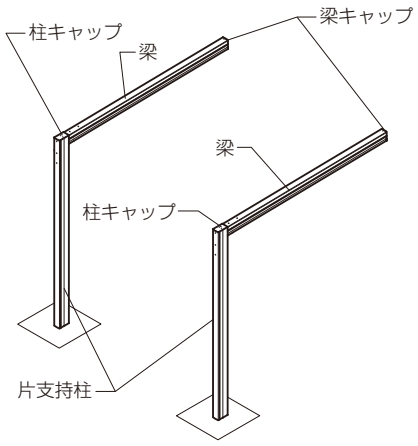
⚠注　意

●地下埋設物（給水管など）に影響をおよぼさないようにしてください。
●コンクリート（又はモルタル）に急結材は使用しないでください。
●海砂はアルミを腐食させるおそれがありますので水洗いしたものをご使用ください。

屋根呼称	土間なし			土間あり		
	W	L	H	W	L	H
15～18	400	400	550	400	300	550
24～30	700	600	550			

■取付け順序

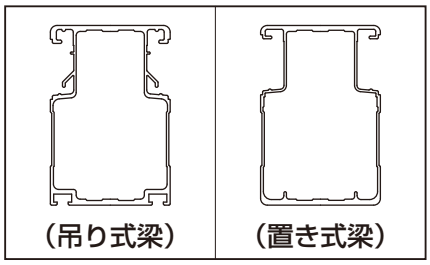
1柱・梁の取付け



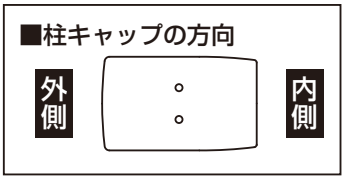
■取付け詳細

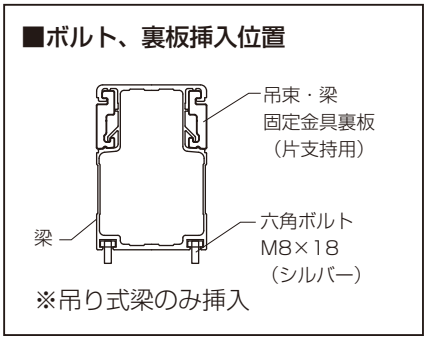
1柱・梁の取付け

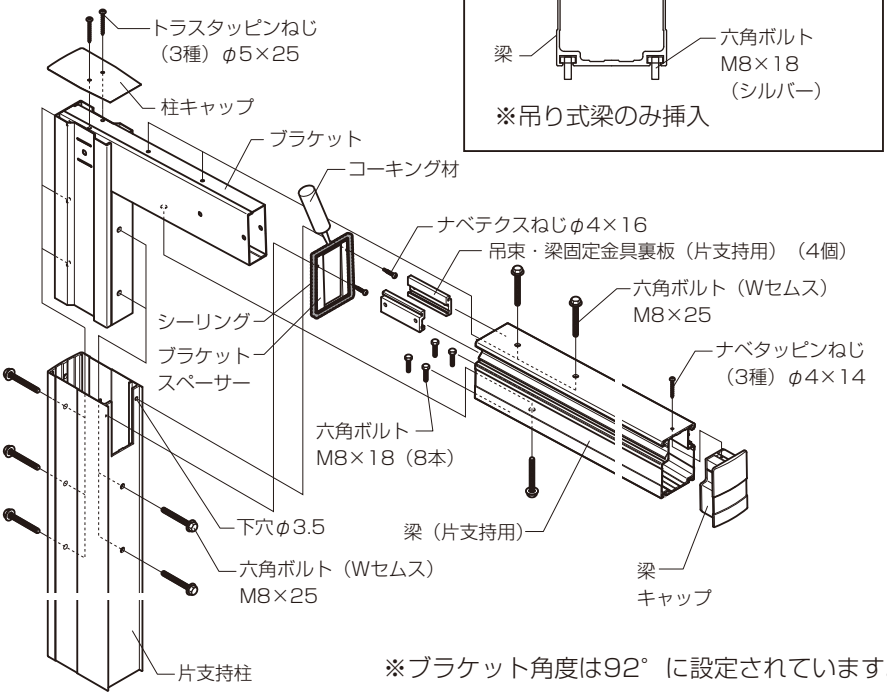
※柱、梁は重量が重いので組立ての際、キズが付かないようにしてください。
※梁には吊り用と置き用があります。



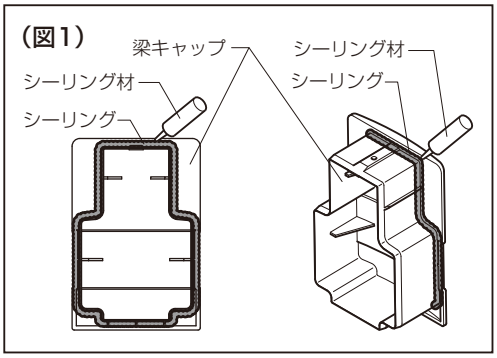
①柱にブラケット・アンカー棒を取付け、柱を建込みます。
②ブラケットにブラケットスペーサーを入れ、ねじ止めした後、ブラケットスペーサーの周りをシーリングしてください。
③ブラケットに梁を入れ、ボルトで固定してください。
④梁1本に対し、側面の溝に裏板4個、下面両端のボルトホールに六角ボルトM8×18を8本を挿入してください。
⑤ブラケットに柱キャップを取付けてください。
⑥梁キャップにコーキング材を充てんし（図1）、梁に取付けてください。
⑦柱と梁の接合部および柱キャップ固定ねじ頭にシーリングをしてください。（図2）

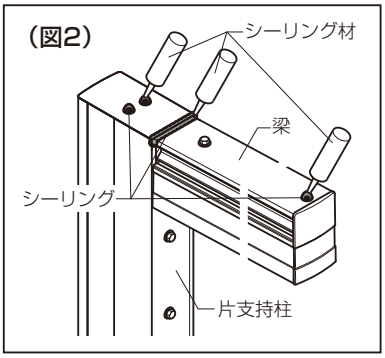






※ブラケット角度は92°に設定されています。



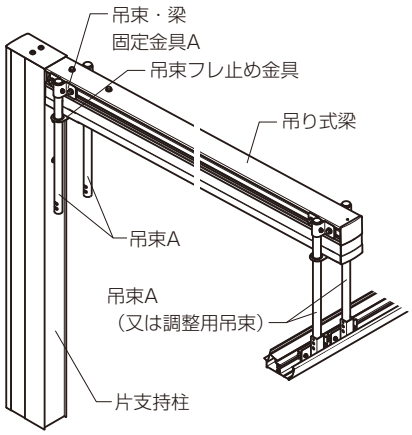


⚠注　意

●指定の個所にシーリングしてください。

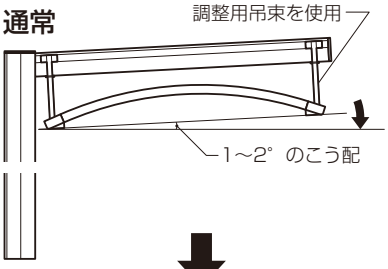
2桁の取付け

●吊り式への取付け

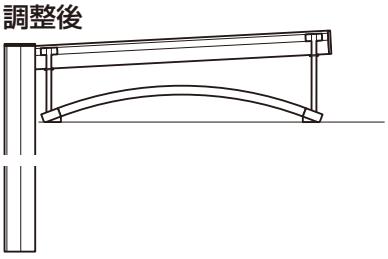


●調整用吊束使用の場合

通常



調整後



※屋根サイズ24・27・30の場合は、屋根の自重でフレームが水平近くになりますので調整用吊束は必要ありません。

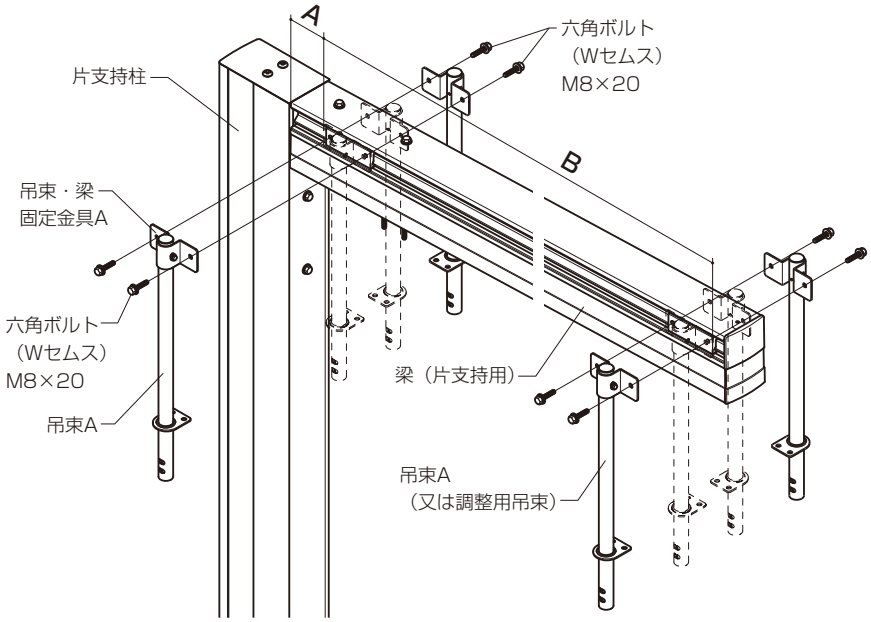
2桁の取付け

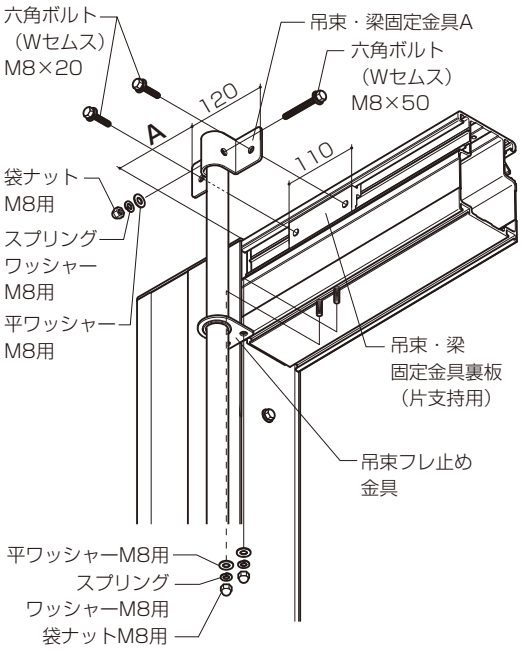
※梁は水平ではなく、先端が1～2°上がっているため、屋根にも若干のこう配がつきます。屋根を水平に取付けたい場合、両支持フレームと併用する場合は、調整用吊束、置き式桁調整スペーサーを使用してください。

●吊り式への取付け

①吊り部品の組立ては**「本体取説：マルチスクエア組立て・施工説明書」**（組立て部品セット内に同梱）を参照してください。

②吊束位置Aを決め、梁側面に挿入した吊束・梁固定金具裏板（片支持用）に吊束・梁固定金具を固定します。梁下面に挿入したボルトに吊束フレ止め金具を固定します。





■吊束A位置

屋根	フレーム	A（mm）	B（mm）
15	18	199	1481
18	18	49	1781
24	27	163	2481
27	27	13	2781
30	30	13	3081

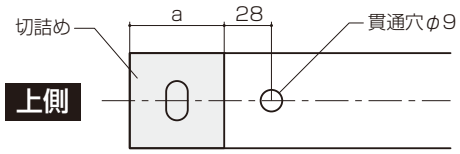
※フレームの中央に屋根を設置した場合の寸法を示します。

※他の屋根・フレームの組合わせのときは、**「基本寸法（P.5）」**および**「本体取説：マルチスクエア組立て・施工説明書」**（組立て部品セット内に同梱）の吊部納まり一覧を参考に算出してください。

●調整用吊束使用の場合

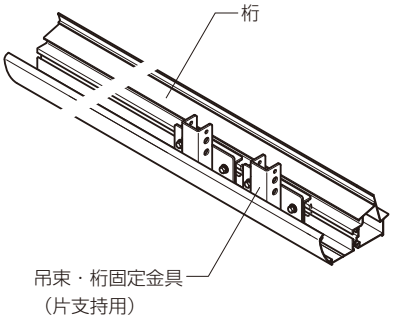
※フレームの角度に合わせてa部分を切詰めます。

※図の部分にφ9の貫通穴をあけます。

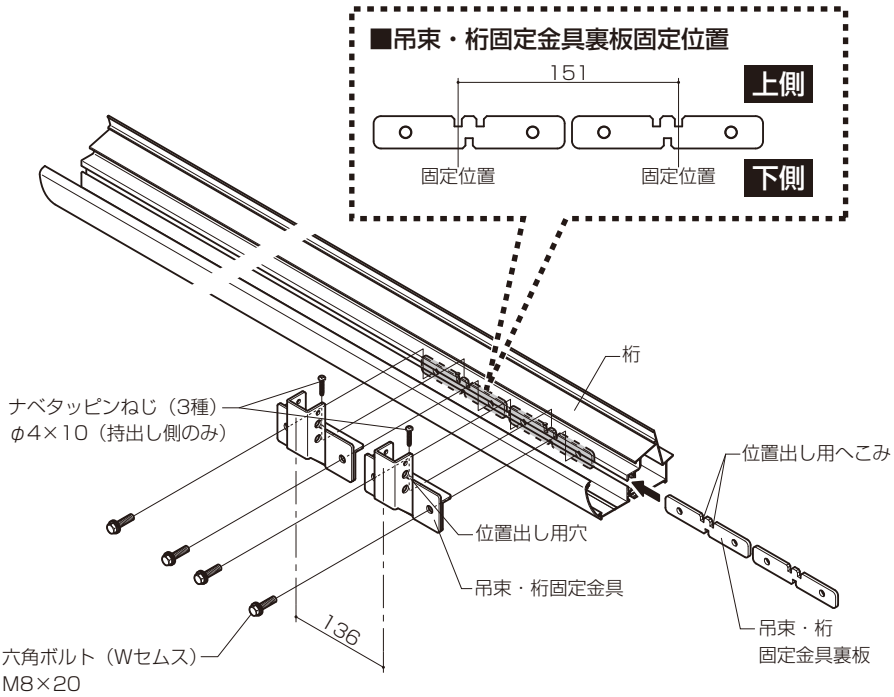


■調整用吊束参考切詰め寸法

屋根	切詰め寸法a（mm）
15	127
18	116.5
パーゴラ11	190
パーゴラ15	175
パーゴラ18	165

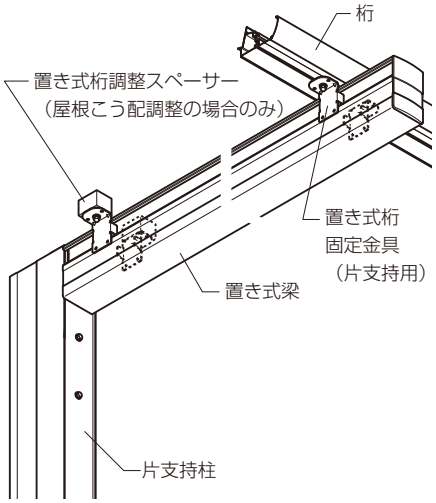


③桁に吊束・桁固定金具裏板を挿入し、吊束・桁固定金具を固定します。
※吊り式梁1本に対し、裏板を2枚挿入します。



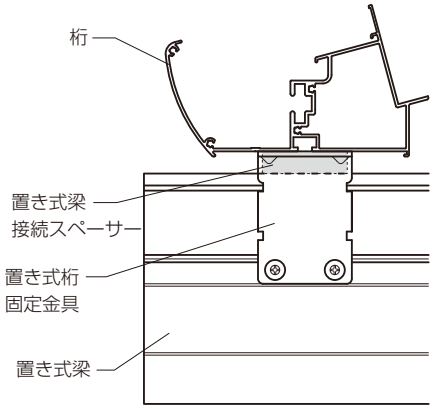
④その他の取付けは、**「本体取説：マルチスクエア組立て・施工説明書」**（組立て部品セット内に同梱）を参照してください。
⑤桁下面の穴は穴ふさぎシールを張ってください。

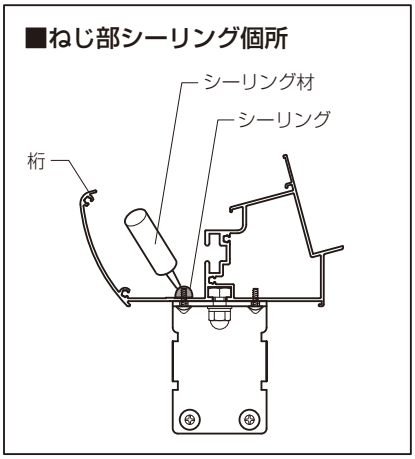
●置き式梁への取付け

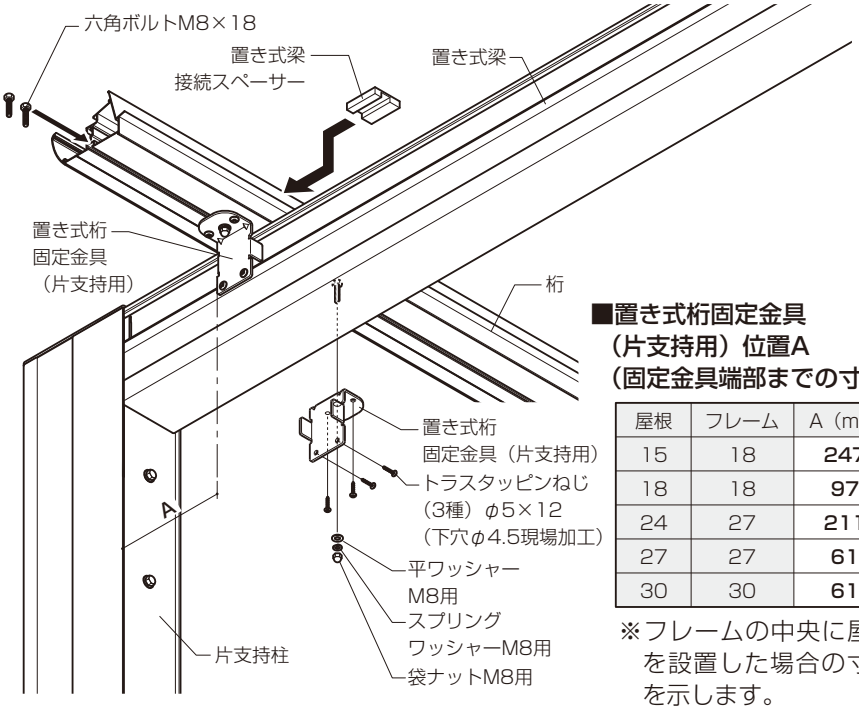


●置き式梁への取付け

①桁のボルトホールにボルトを挿入してください。
※22タイプ：4本　29タイプ：4本　50タイプ：4本
　57タイプ：4本（屋根15・18）、6本（屋根24・27・30）
②置き式桁固定金具（片支持用）を桁に仮止めしてください。
③桁と片支持置き式梁の間に置き式梁接続スペーサーを挟んでください。
④屋根を組立て対角を出した後に置き式桁固定金具（片支持用）を置き式梁に固定してください。
※桁・梁への取付けねじは置き式桁固定金具（片支持用）に合わせてφ4.5の下穴をあけて取付けてください。
※雨どい部のねじはシーリングをしてください。
⑤桁下のボルトを本締めして固定してください。
⑥桁下面の穴が見える場合は穴ふさぎシールを張ってください。







■置き式桁固定金具（片支持用）位置A（固定金具端部までの寸法）

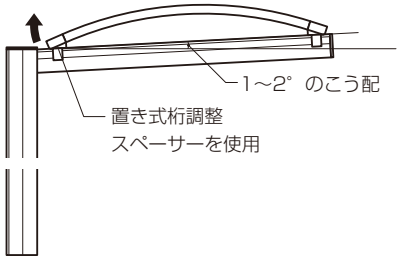
屋根	フレーム	A（mm）
15	18	**247**
18	18	**97**
24	27	**211**
27	27	**61**
30	30	**61**

※フレームの中央に屋根を設置した場合の寸法を示します。

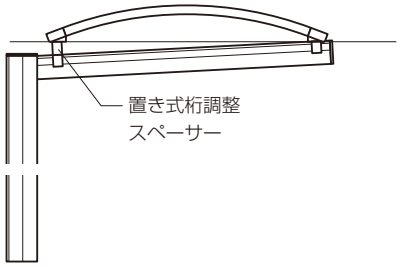
●置き式桁調整スペーサー使用の場合

●置き式桁調整スペーサー使用の場合

通常



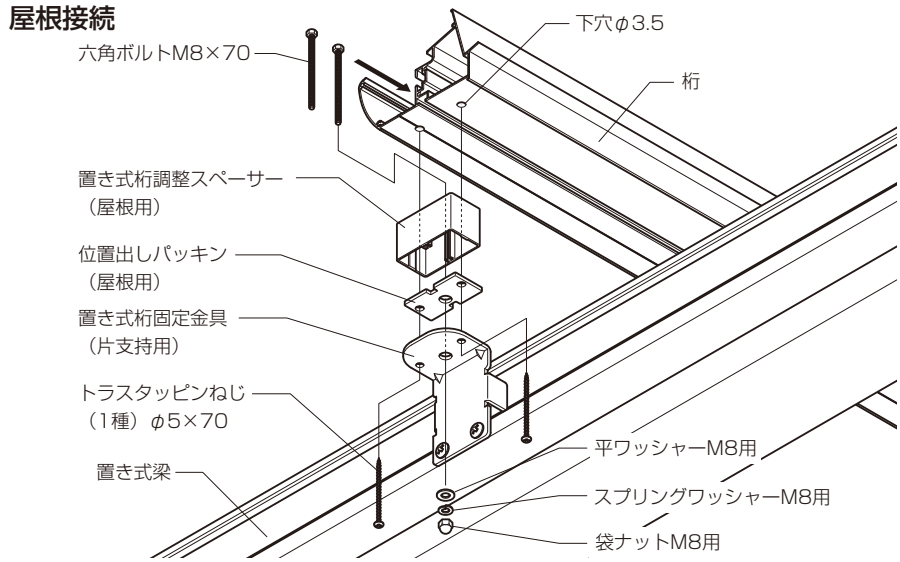
調整後



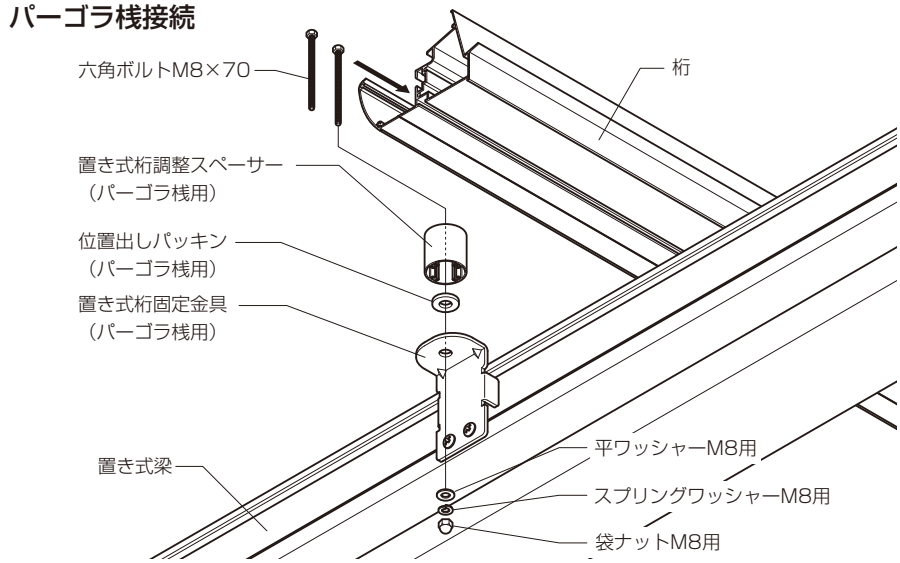
※屋根サイズ24・27・30の場合は、屋根の自重で梁が水平近くになるため、置き式桁調整スペーサーは必要ありません。

●置き式桁調整スペーサー使用の場合

屋根接続

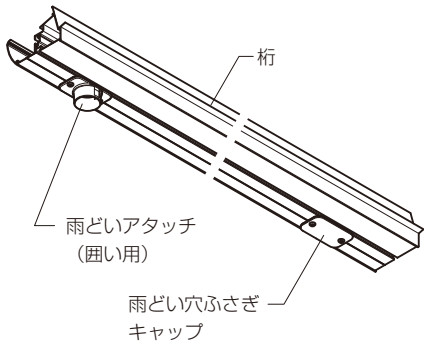


パーゴラ桟接続



●置き式柱上への取付け

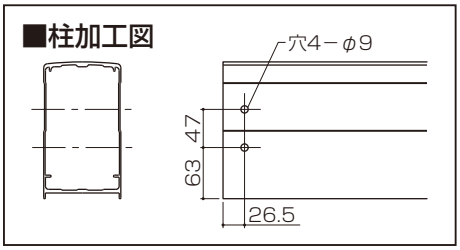
3垂木・側枠の取付け
4母屋の取付け
5屋根パネルの取付け
6屋根材カバーの取付け
7横どい・縦どいの取付け

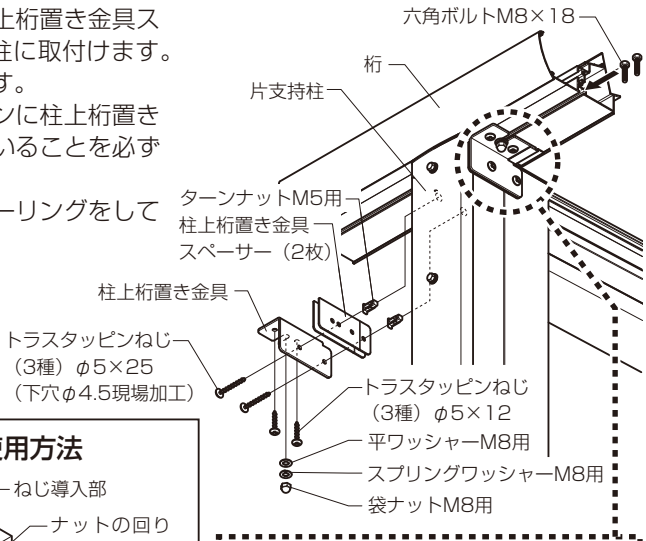


●置き式柱上への取付け

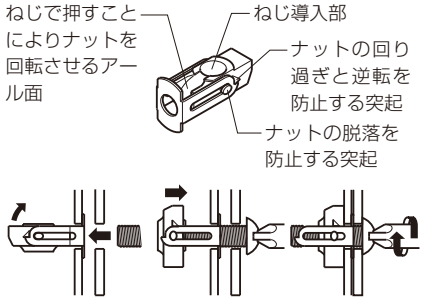
①図のように柱を加工してください。
②桁のボルトホールにボルトを挿入してください。
※22タイプ：4本　29タイプ：4本
50タイプ：4本
57タイプ：4本（屋根15・18）、6本（屋根24・27・30）
③柱上桁置き金具、柱上桁置き金具スペーサー（2枚）を柱に取付けます。
④桁を柱上に取付けます。
※このとき、桁のフィンに柱上桁置き金具が引っ掛かっていることを必ず確認してください。
※雨どい部のねじはシーリングをしてください。
⑤桁下面の穴が見える場所は穴ふさぎシールを張ってください。

■柱加工図

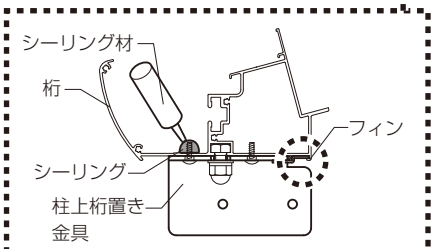




■ターンナットの使用方法



●ターンナットを下穴に挿入し、軽く押込みながら締付けてください。

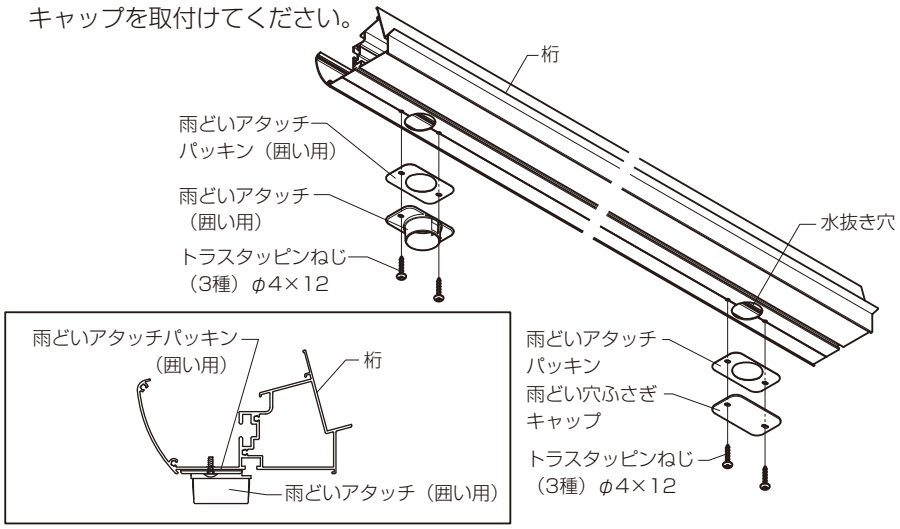


※金具がフィンに引っ掛かっていることを必ず確認してください。

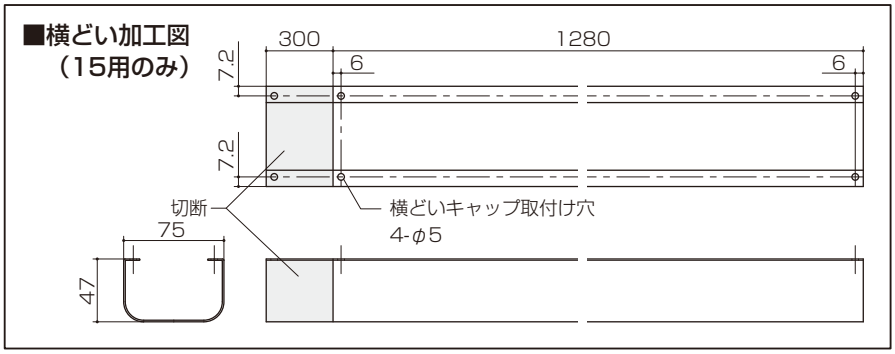
3垂木・側枠の取付け
4母屋の取付け
5屋根パネルの取付け
6屋根材カバーの取付け
7横どい・縦どいの取付け

3～**6**は**「本体取説：マルチスクエア組立て・施工説明書」**（組立て部品セット内に同梱）を参照してください。

①桁の横どいを取付ける方の水抜き穴に雨どいアタッチパッキン（囲い用）と雨どいアタッチ（囲い用）を取付けてください。
※縦どいセットに同梱の雨どいアタッチは使用しません。
②桁の横どいを取付けない方の水抜き穴にアタッチパッキン、雨どい穴ふさぎキャップを取付けてください。



③15用のみ横どいを加工してください。

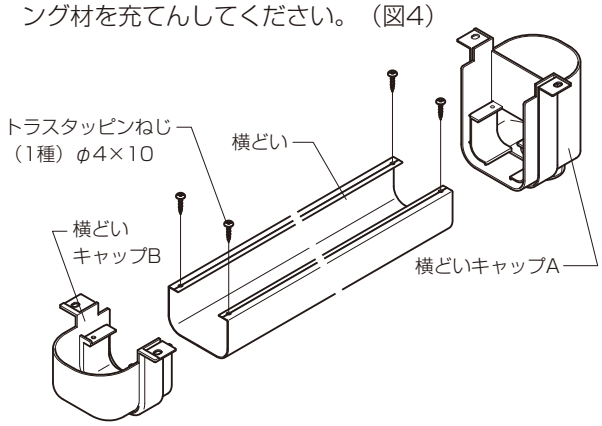


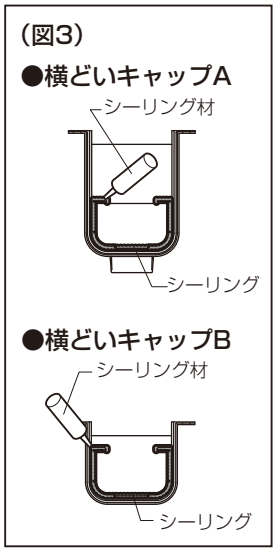
⚠注　意

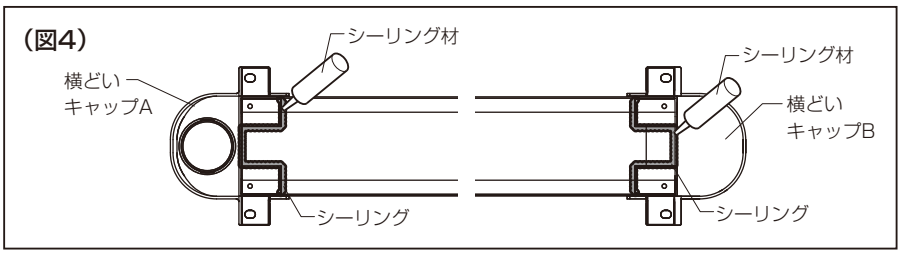
●指定の個所にシーリングしてください。

④横どいキャップAと横どいキャップBにシーリング材を充てんして、横どいに差込み、ねじで固定してください。（図3）

⑤横どいキャップAと横どいキャップBの内側にシーリング材を充てんしてください。（図4）

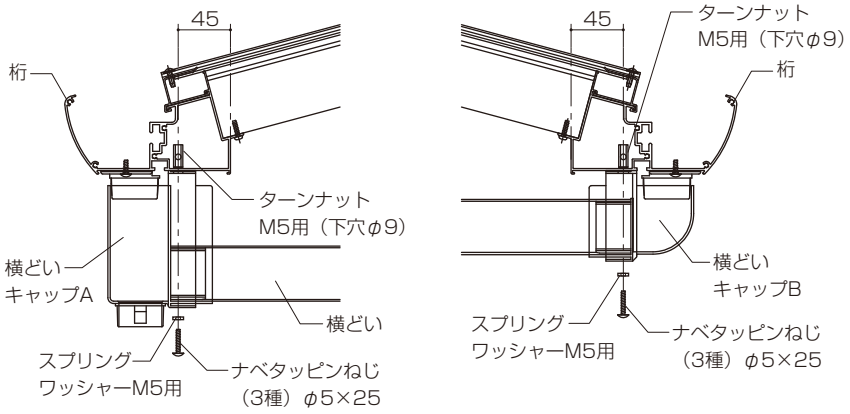






⑥横どいキャップA・Bをターンナットを使用して、桁に取付けてください。
※ターンナットの使用方法は**（P.10）**を参照してください。

⑦縦どいセットの取付けは**「本体取説：マルチスクエア組立て・施工説明書」**（組立て部品セット内に同梱）を参照してください。



■連棟の取付け

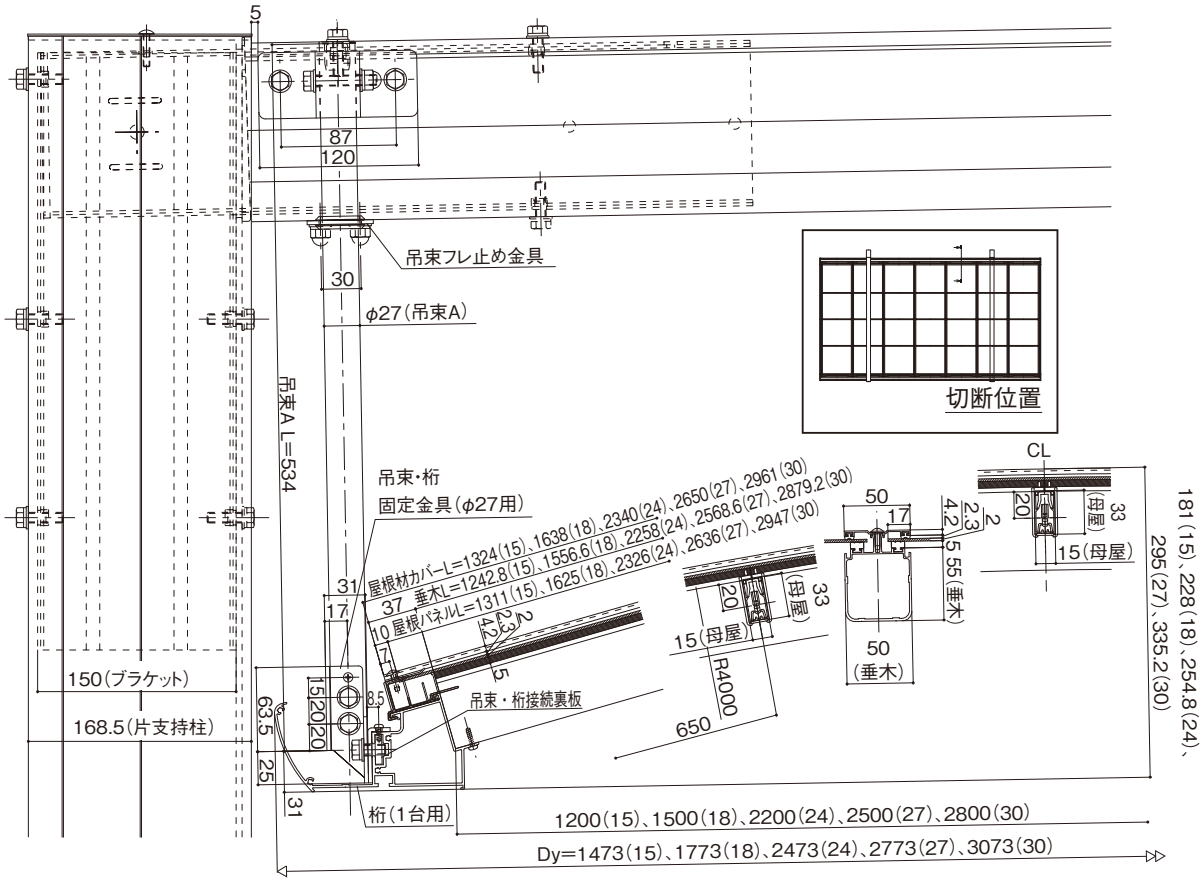
※**「本体取説：マルチスクエア組立て・施工説明書」**（組立て部品セット内に同梱）を参照してください。

■梁化粧カバーの取付け

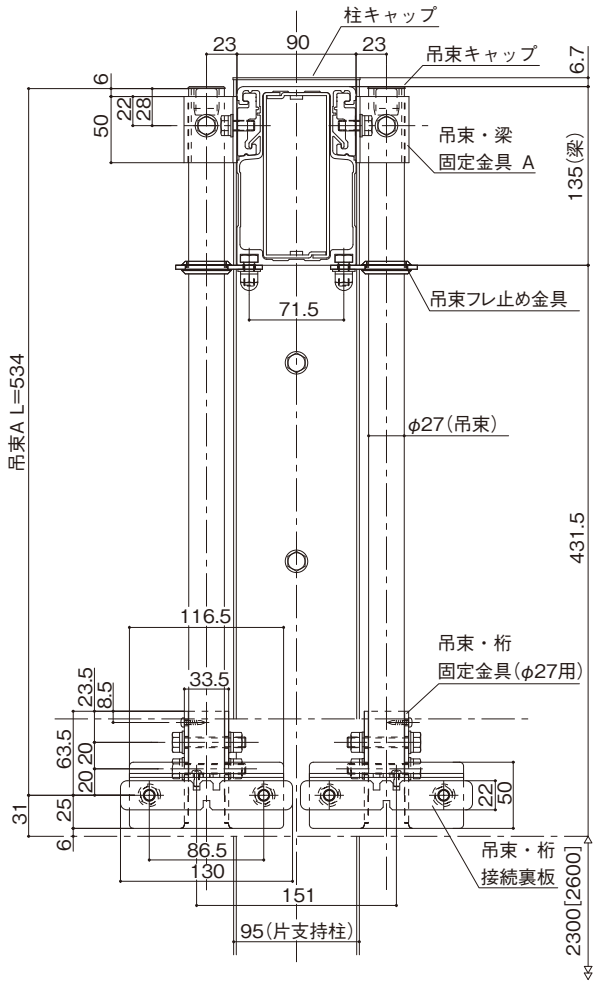
※**「本体取説：マルチスクエア組立て・施工説明書」**（組立て部品セット内に同梱）を参照してください。

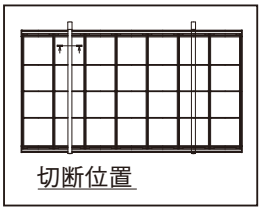
■参考納まり図

●吊り



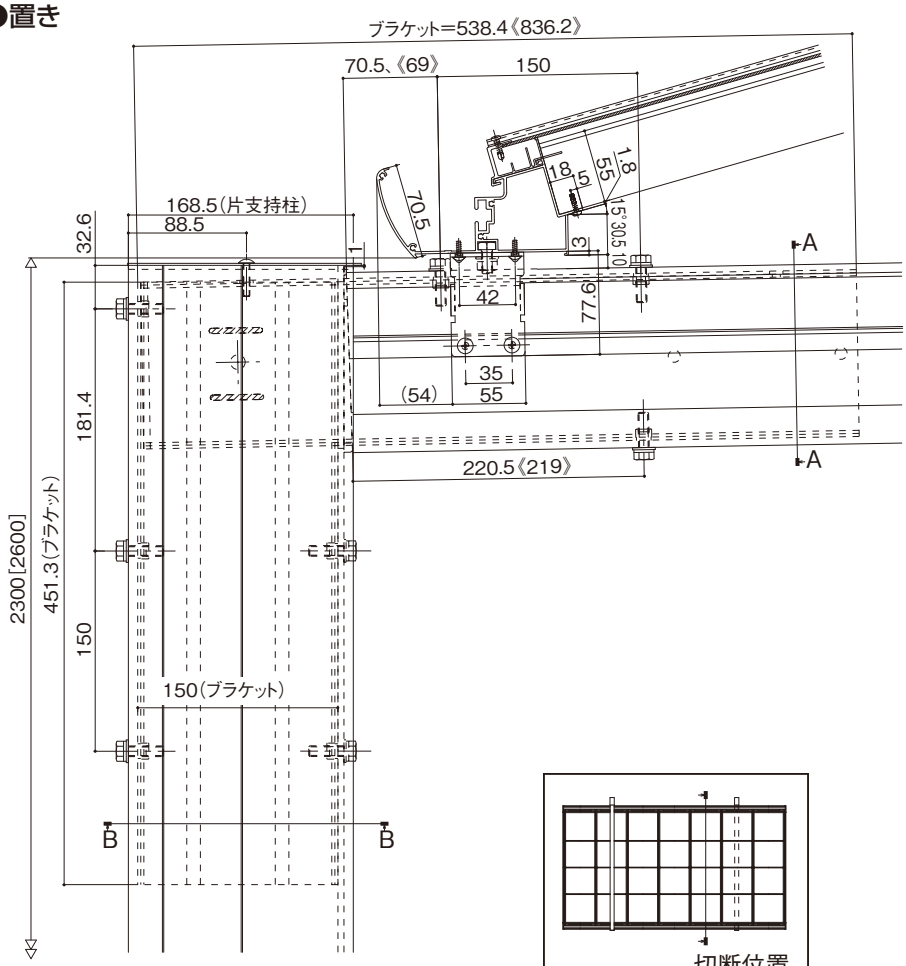
●吊り金具

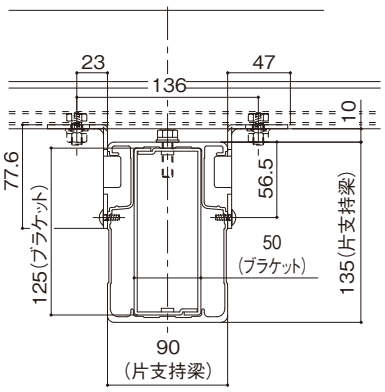




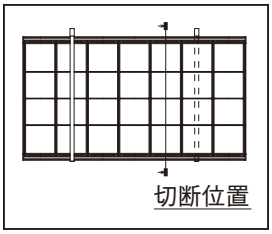
※[　]：ハイルーフタイプ

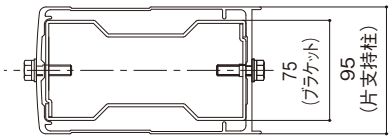
●置き





A−A 断面



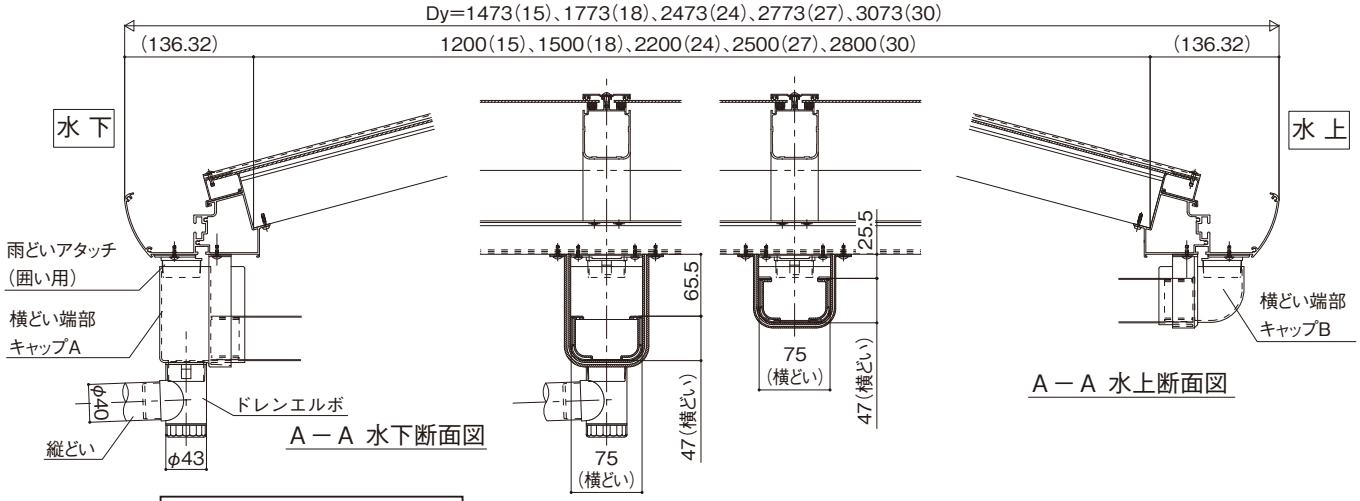


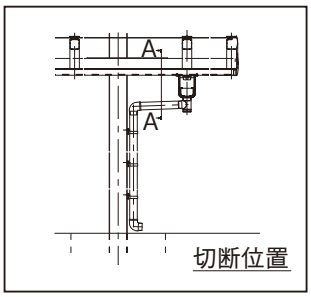
B−B 断面

※本図はdy=15、18、24、27サイズを示し、dy=30サイズは《　》に示します。

※[　]：ハイルーフタイプ

●横どい





LIXIL

取付説明書　マルチスクエア　片支持タイプ

地球環境のためにLIXILは
業界トップランナーとして
先進的な取組をしていきます。

株式会社 LIXIL

会社や商品についての情報のご確認は、LIXIL オフィシャルサイトまで

https://www.lixil.co.jp/

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CAD データなどの各種情報は、上記オフィシャルサイトからご確認ください。

商品についてのお問い合わせ・部品のご購入は、お客さま相談センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00　土・日・祝日 9:00～17:00（ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始等を除く）

TEL. **0120-126-001**　FAX. **03-3638-8447**

●旭トステム外装株式会社のサイディング材に関する商品相談は
旭トステム外装（株）サービスデスクナビダイヤル　TEL.0570-001-117

修理のご依頼は、LIXIL修理受付センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00（祝日、年末年始、夏期休暇等を除く）

TEL. **0120-413-433**　FAX. **0120-413-436**

https://www.lixil.co.jp/support/

安全に関するご注意

ご使用の前に「取扱説明書」をよくご覧の上、正しくお使いください。また、取付設置工事は「取付設置説明書・施工説明書」に従ってください。いずれの場合も、取り扱いを誤ると事故や故障の原因となります。

個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

●商品改良のため、予告なしに仕様の変更を行うことがありますのでご了承ください。

取説番号　MAJ-177F	事業所コード　KGV1	2019.2.1 発行

MAJ177F

2019.2